

職場環境等要件について法人としての取り組み

NPO 法人ホールド
すまいるらんど

私たちの事業所は処遇改善加算Ⅰを算定しています。

○入職促進に向けた取組

- * 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
 - ・ 無資格者、転職者も含め介護部門での勤務を希望する方の採用を行っています。
- * 職業体験の受け入れや地域行事の参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施
 - ・ 日本海総合病院で年1回の祭り行事に参加し、障害者支援の魅力を伝えています。

○資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- * 働きながら資格取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い技術の取得を目指す者に対する研修の受講支援等
 - ・ 働きながら資格を取得できるよう初任者研修、サービス管理責任者研修、介護福祉士資格取得の費用を全額負担します。
- * エルダーメンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度の導入
 - ・ 定期的に上位・担当者との面接の機会を設定し、業務内容の相談・悩み事等、サポートを行います。

○両立支援・多様な働き方の推進

- * 職員の事情等に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
 - ・ 職員やその家族勤務の事情により勤務時間を短縮できる短時間勤務制度や、非正規職員の希望により正職員への転換を実施し、働きやすい柔軟な環境を整備しています。
- * 障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮
 - ・ 障害を有している者でも勤務可能性を重要視し、業務内容等含めた適材適所への配置および勤務シフトを整備しています。

○腰痛を含む心身の健康管理

- * 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施
 - ・ 短時間勤務労働者も含めた職員全員の健康診断を実施しています。またストレスチェックも行い職員の仕事やプライベートでの悩みや不安を相談できるよう体制を整えています。
- * 福祉・介護職員の身体の負担軽減のための技術の習得支援や研修受講等による腰痛対策の実施
 - ・ 職員の腰痛対策のためリフト危機を導入し活用しています。

○生産性向上のための業務改善の取組

*現場の課題の見える化

- ・定期的に職員会議を開催し課題の抽出を行い、課題の構造化による解決を促進する。

また、業務時間の確認を毎月行っています。

*5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備

- ・働きやすくまた事故防止の観点から、各事業所で5S活動に取り組んでいます。

*業務内容の明確化と役割分担を行い、福祉・介護職員が支援に集中できる環境を整備。特に、間接業務がある場合は、間接業務に従事する者の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。

- ・定期的に職員会議を行い、現況の職員の役割を再確認し、更なるムリ・ムダ・ムラの削減に努めています。

○やりがい・働きがいの醸成

*ミーティング等による職員内コミュニケーションの円滑化による個々の職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善

- ・定期的に職員会議を開催し、利用者様に関する情報を共有し、その人らしい生活を支援する方法について職員で検討する場を設けます。

*地域福祉の一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施

- ・職員自身がその地域の福祉部門を担っているという実感とやりがいを得ることができるよう、地域で開催される文化祭や行事に積極的に参加します。